

総社市の財政

(財政事情の公表)

平成 19 年度 決算 の 概要
平成 20 年度 上半期財政運営状況

平成 20 年 11 月 27 日

総社市総務部財政課

平成 19 年度 一般会計決算の概要

○平成 19 年度総社市一般会計決算は、歳入決算額 232 億 1,953 万円に対し、歳出決算額 225 億 6,229 万 1 千円で、差し引き 6 億 5,723 万 9 千円の残額を生じております。このうち、繰越明許費繰越財源 1 億 3,672 万 6 千円を差し引いた実質収支額は、5 億 2,051 万 3 千円となっています。

○歳入では、平成 18 年度に比べ、税源移譲などにより、市税が 9 億 7,217 万 2 千円増額となる一方、国から交付される地方譲与税が 5 億 1,343 万 2 千円、地方交付税が 2 億 3,262 万 9 千円などが減額となっています。歳入のうち、市税などの市独自でまかなうことのできる自主財源は、全体の 48.2%で、残りは地方交付税や国・県からの補助金、市債などの財源に依存しています。

○歳出では、新規採用の抑制に伴い、人件費が大幅に減少。また、公共事業の抑制により普通建設事業費も減少しました。その一方で、おかやま国体に向けての大型事業の市債の償還がピークを迎えていることに伴い、元金の償還や利子の支払いである公債費が増額となりました。

○今後はさらに過去に借り入れた市債の償還のため公債費が増加することから、歳入の確保と事務事業の見直し及び経常経費の圧縮を図り、より一層の健全財政に努める必要があります。

平成19年度決算の概要

平成19年度の各会計の決算は次のとおりとなりました。

(単位：千円)

会計区分	歳入 A	歳出 B	差引 C	20年度への 繰越財源 D	実質収支 C-D	
一般会計	23,219,530	22,562,291	657,239	136,726	520,513	
特別会計	国民健康保険	6,398,496	5,837,898	560,598	0	560,598
	老人保健	6,142,362	6,141,928	434	0	434
	介護保険	3,942,122	3,748,290	193,832	0	193,832
	農業集落排水事業費	547,343	547,060	283	191	92
	国民宿舎事業費	867,645	865,548	2,097	0	2,097
	総社駅南地区土地 区画整理事業費	826,813	788,804	38,009	37,430	579
	公共下水道事業費	3,177,436	3,171,976	5,460	5,390	70
計	21,902,217	21,101,504	800,713	43,011	757,702	

平成19年度に実施した主な事業（一般会計）

(単位 千円)

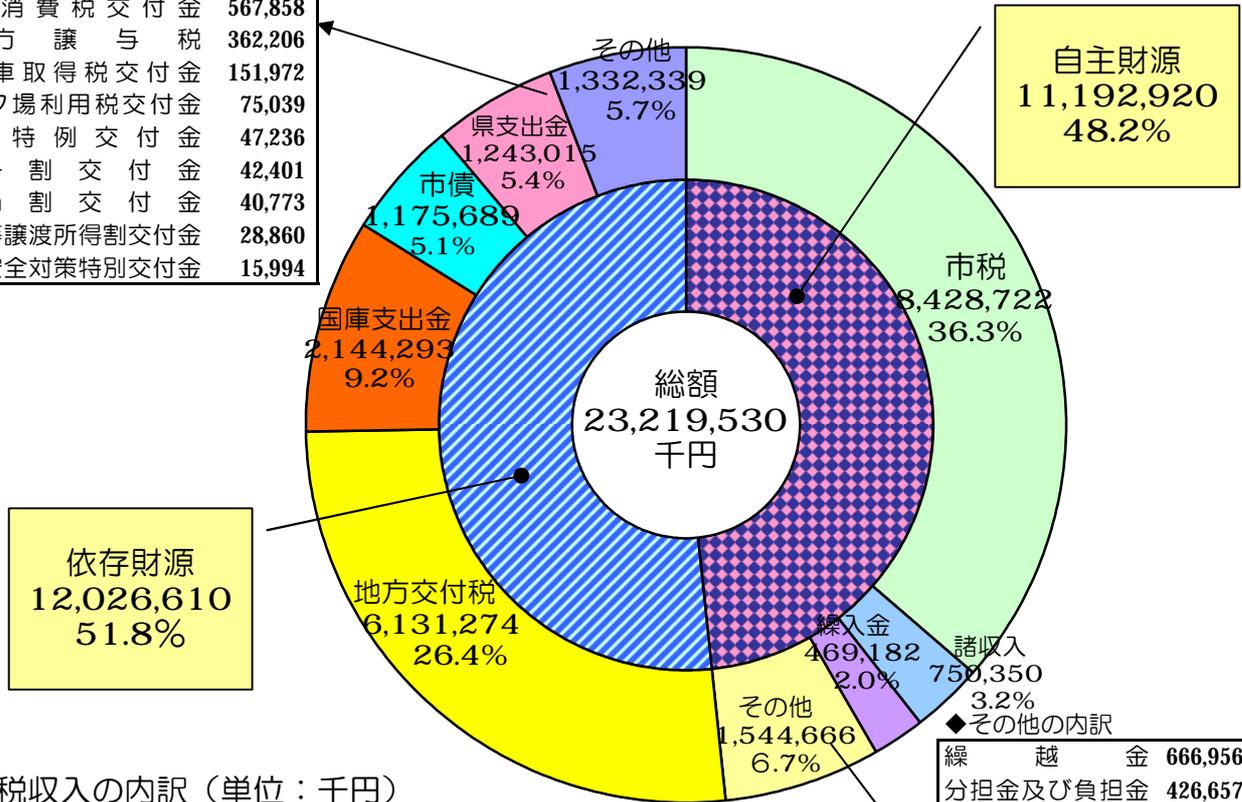
・新世代地域ケーブルテレビの整備	168,843
・私立保育所の施設整備の助成	80,190
・妊婦健康診査の助成	13,677
・小児医療費の給付	179,418
・ごみ収集の経費	173,604
・企業誘致の経費	16,120
・耐震への対策	2,930
・清音神在本線改良事業	445,640
・都市計画マスタープラン策定	8,610
・常盤公園の整備	141,591
・救助工作車の更新	68,040
・昭和中学校の屋内運動場の整備	194,594
・小学校の空調設備の整備	11,854
・子どもの安全・安心メール配信システム	4,168
・図書館の空調設備の整備	30,664

歳入の状況（一般会計）

● 歳入の概要（単位：千円）

◆その他の内訳

地方消費税交付金	567,858
地方譲与税	362,206
自動車取得税交付金	151,972
ゴルフ場利用税交付金	75,039
地方特例交付金	47,236
利子割交付金	42,401
配当割交付金	40,773
株式等譲渡所得割交付金	28,860
交通安全対策特別交付金	15,994

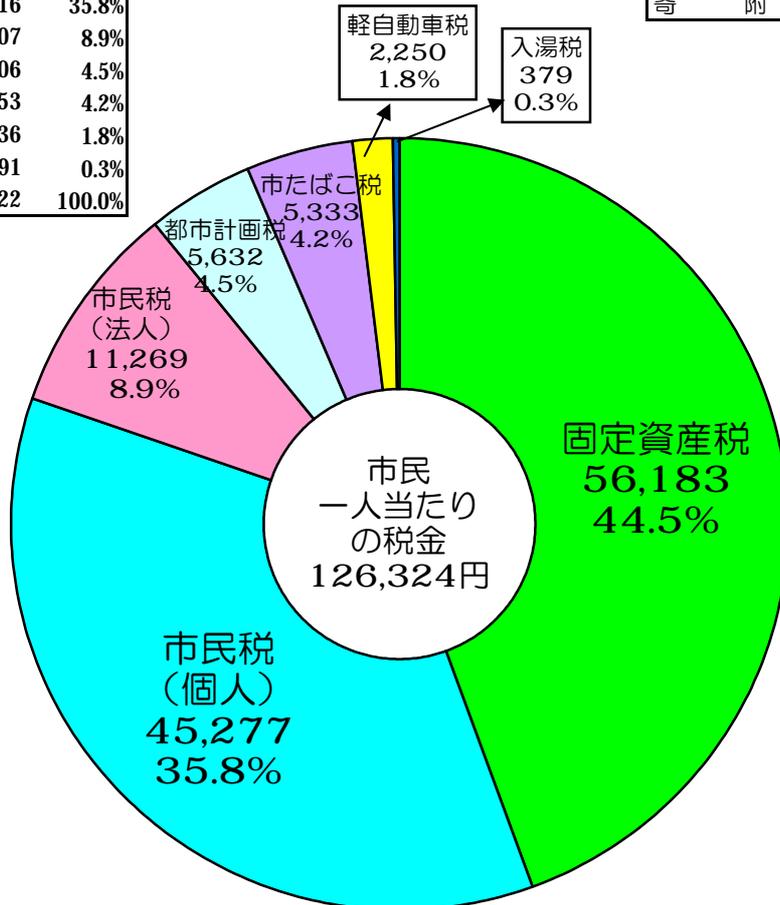


●市税収入の内訳（単位：千円）

固定資産税	3,748,713	44.5%
市民税（個人）	3,021,016	35.8%
市民税（法人）	751,907	8.9%
都市計画税	375,806	4.5%
市たばこ税	355,853	4.2%
軽自動車税	150,136	1.8%
入湯税	25,291	0.3%
合計	8,428,722	100.0%

◆その他の内訳

繰越金	666,956
分担金及び負担金	426,657
使用料及び手数料	397,679
財産収入	49,718
寄附金	3,656



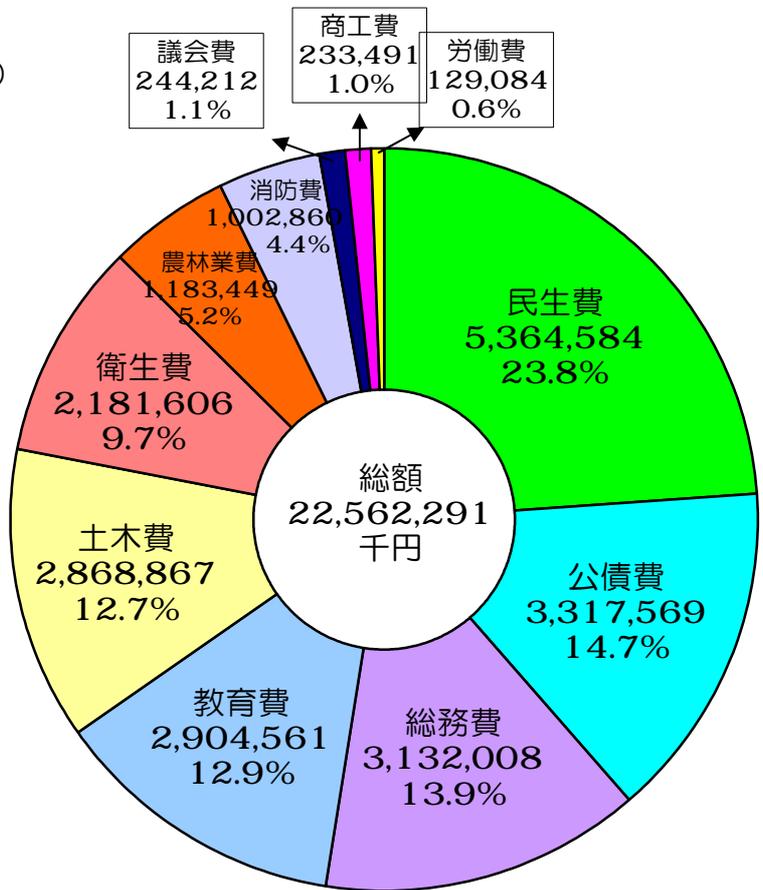
歳出の状況（一般会計）

● 歳出の概要

◆ 目的別決算の内訳（単位：千円）

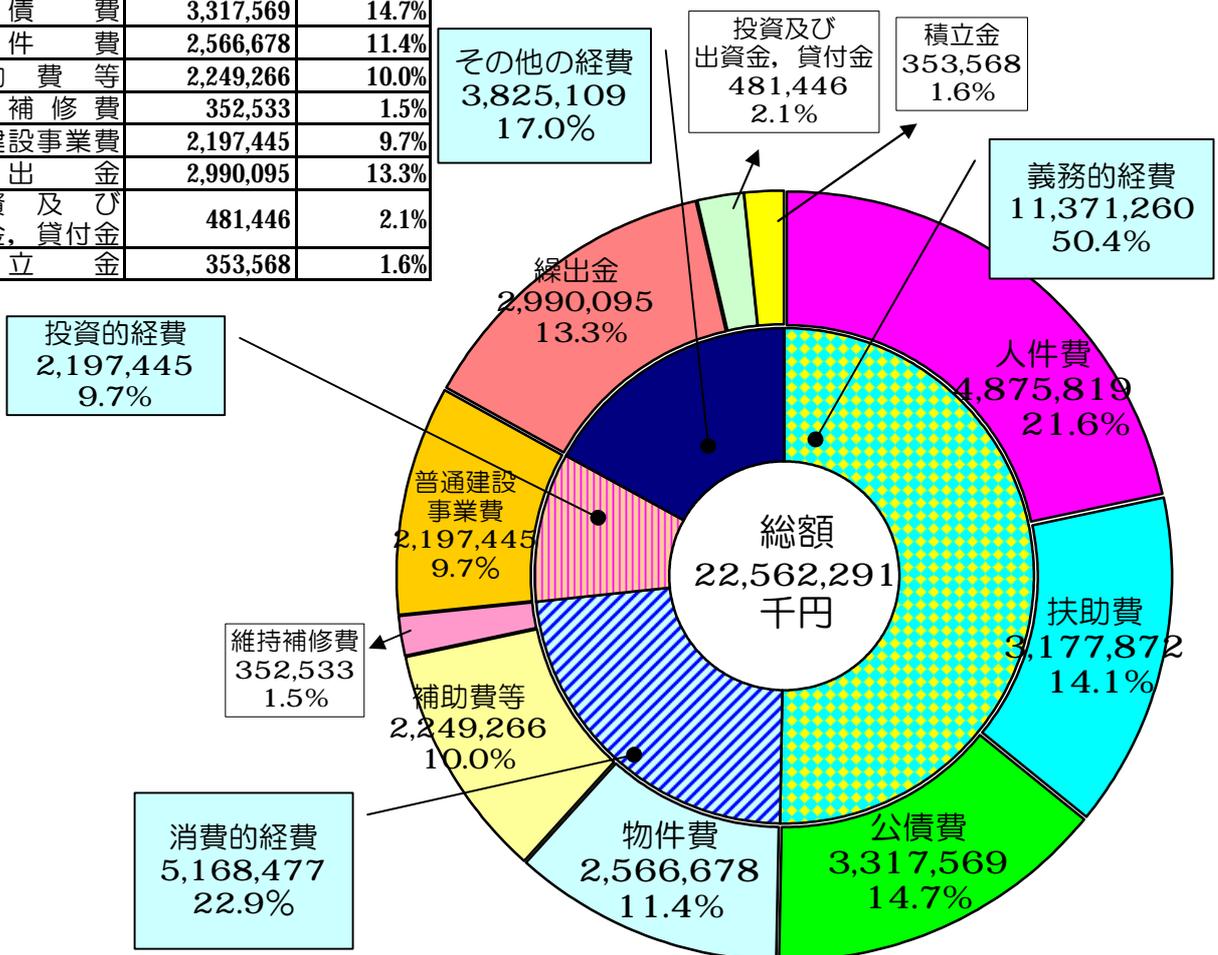
科目	決算額	構成比
民生費	5,364,584	23.8%
公債費	3,317,569	14.7%
総務費	3,132,008	13.9%
教育費	2,904,561	12.9%
土木費	2,868,867	12.7%
衛生費	2,181,606	9.7%
農林業費	1,183,449	5.2%
消防費	1,002,860	4.4%
議会費	244,212	1.1%
商工費	233,491	1.0%
労働費	129,084	0.6%
歳出合計	22,562,291	100.0%

市民一人当たりの経費
338,149円



◆ 性質別決算の内訳（単位：千円）

区分	決算額	構成比
人件費	4,875,819	21.6%
扶助費	3,177,872	14.1%
公債費	3,317,569	14.7%
物件費	2,566,678	11.4%
補助費等	2,249,266	10.0%
維持補修費	352,533	1.5%
普通建設事業費	2,197,445	9.7%
繰出金	2,990,095	13.3%
投資及び出資金、貸付金	481,446	2.1%
積立金	353,568	1.6%
その他の経費	3,825,109	17.0%
総額	22,562,291	100.0%

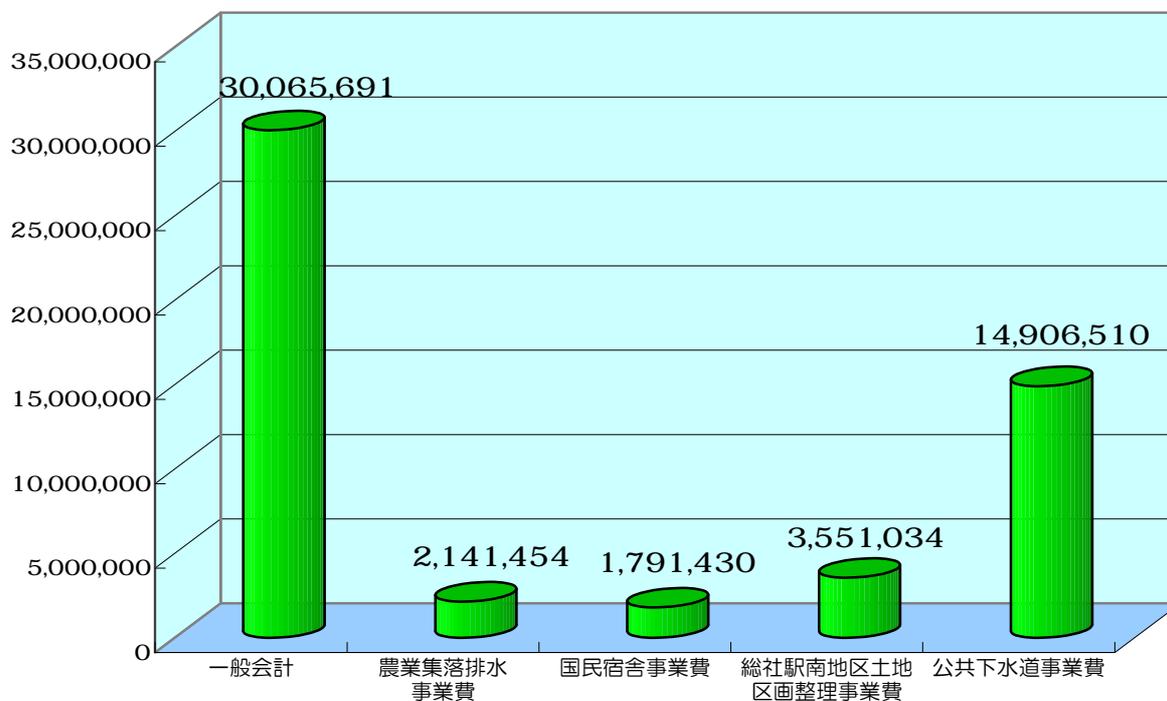


地方債現在高（平成19年度末）

（単位：千円）

会 計 別		現 在 高
一 般 会 計		30,065,691
特 別 会 計	農 業 集 落 排 水 事 業 費	2,141,454
	国 民 宿 舎 事 業 費	1,791,430
	総社駅南地区土地区画整理事業費	3,551,034
	公 共 下 水 道 事 業 費	14,906,510
計		22,390,428
合 計		52,456,119

（単位：千円）



平成 20 年度上半期の財政事情

- 本年度上半期の財政状況については、原油価格の高騰などから、国内の景気が停滞するなか、アメリカのサブプライムローン問題に端を発した金融危機により、日本経済は厳しい局面に立たされており、地方財政においても、市税収入の先行きが不透明な状況になっています。また、過去の借入金の償還負担の増加や社会保障関係経費の増加などとあわせて、財政は依然として構造的に極めて厳しい状況になっています。
- 本年度から公表が義務付けられた「健全化判断比率（①実質赤字比率②連結実質赤字比率③実質公債費比率④将来負担比率の4指標）」並びに「資金不足比率」は、いずれの指標も早期健全化基準などを下回っており、本市の財政が直ちに行き詰まるものではないという結果がでました。しかしながら、従来から継続実施しております事業に加え、学校施設の耐震化や清音神在本線改良事業など新たな社会基盤整備を進めていくためには、多額な財源が必要と見込まれるところであります。このため、効率的で持続可能な財政運営への転換を図ることが急務となっており、行政改革大綱に基づく行財政改革に引き続き取り組むことが必要になっています。
- このような財政状況ではありますが、総社市総合計画に定めた総社市の将来都市像【地域・文化・自然が支える心豊かな生活交流都市】の実現のため、引き続き、わたしたちが考え、わたしたちが実行していくまちづくりに取り組んでまいります。

平成20年度上半期財政運営の状況

■市有財産の状況（平成20年9月30日現在）

区 分		現在高	
公有財産	土 地	4,474,362 m ²	
	建 物	245,434 m ²	
	山 林	1,600,705 m ²	
	有 価 証 券	222,729 千円	
	出資による権利	3,346,399 千円	
債 権	324,341 千円		
基 金	普 通 会 計	財 政 調 整 基 金	1,631,422 千円
		減 債 基 金	988,642 千円
		職 員 退 職 手 当 基 金	834,416 千円
		ま ち づ く り 基 金	537,205 千円
		総社駅南地区土地区画 整理事業基金	52,515 千円
		小計（以上5基金）	4,044,200 千円
		その他特定目的基金	1,070,606 千円
		計	5,114,806 千円
	国民健康保険事業基金	770,422 千円	
	介護給付費準備基金	276,616 千円	
	国民宿舎運営基金	209,231 千円	
	公共下水道事業基金	406,434 千円	
合 計	6,777,509 千円		

■一時借入金の現在高（平成20年9月30日現在）

（単位 千円）

会計区分	現在高
一般会計	0
国民健康保険特別会計	0
介護保険特別会計	0

■基金繰替運用の状況（平成20年9月30日現在）

（単位 千円）

区分	繰替運用金
財政調整基金	0
減債基金	0
職員退職手当基金	0

※基金繰替運用とは、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用することです。

■債務負担行為の状況（平成20年度9月補正予算まで）

（一般会計）

（単位 千円）

科目	件数	限度額	当該年度以降の 支出予定額
総務費	1	9,500	9,500
農林業費	245	4,763,180	2,291,163
合計	246	4,772,680	2,300,663

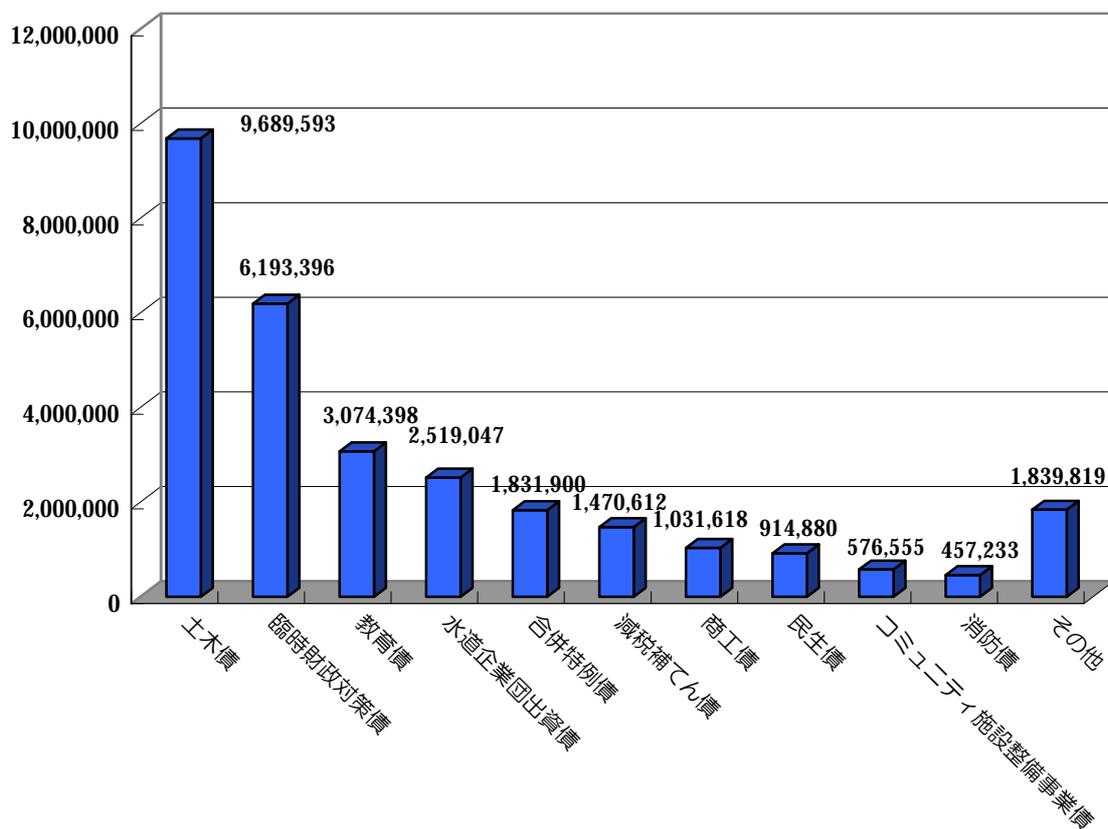
※限度額が文言等で記載されているもの

- ・ 農業近代化資金利子補給ほか 4 件
- ・ 損失補償に関するもの 1 件
- ・ 債務保証に関するもの 2 件

市債の現在高（一般会計）

平成20年度末 市債現在高見込額 29,599,051千円

(単位：千円)



市債の現在高（特別会計）

平成20年度末 市債現在高見込額 22,138,224千円

(単位：千円)

